



2月のほけんだより

平成25年2月21日

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

養護教諭

立春のころは「この寒いのにどこが春なのよ！」なんて思っていたんですが、最近日はが少しずつ長くなってきたのを感じます。冬の出口は遠くないようです。とはいえ、まだ2月。インフルエンザに警戒しつつ、体調に気をつけて近づいてきた春に備えましょう。

高等部 いのちと性の学習

安宅助産師さんに来ていただき、いのちについて学びました。赤ちゃんはお腹の中にいるときから素晴らしい力を発揮していたこと、思いやりの心を持って生まれてきたことなどを学びました。

妊婦体験エフロン



いのちの始まりの大きさを？ そ〜っと大事に抱っこ



お母さんは大変だったんだ〜

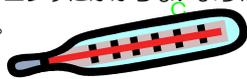


インフルエンザにご注意を！

和歌山市内にはインフルエンザ流行発生警報が発令されています。市内のたくさんの学校では学級閉鎖等を行っていますが、本校ではうがい手洗いの徹底や、体調が悪い人にはまめに検温を行うなどして、インフルエンザの拡大防止に努めています。

予防接種 受けた人も油断禁物！

予防接種を受けた人でもインフルエンザにかかる可能性はあります。予防接種は、インフルエンザにかからないようにするためではなく、かかっても重症化しないようにするものです。あまり高い熱が出なくて済むかもしれません。



高熱が出ないことも

インフルエンザと言えば38℃以上の高熱が特徴ですが、微熱程度の発熱が続いて、「おかしいな…」と思って病院に行くとインフルエンザと診断されるケースも。「体調がいつもと違う。」と思ったら、検温、マスク、病院受診など慎重に対処しましょう。

花粉症が辛い季節です

毎年のことだから…と、花粉症を放置している人はいませんか？
放っておくとこんな怖いことになる可能性もあります。

- 他の花粉にも反応するようになる
- ぜん息を発症する
- 副鼻腔炎になって慢性化する
- 治りにくく症状が重くなる

鼻、のど、気管支などは粘膜で続いています。次々と新たな症状が出る前に、きちんと花粉症を治療しましょう。



保護者の方に向けた

ちょっとひと息…こころのおはなし

日曜参観の日、小学部高学年で“おやつのお”と“ジュースの砂糖”について授業をしました。事前にアンケートをとると、大体の子が好きなおやつにスナック菓子や甘い物、炭酸飲料や甘い飲み物を挙げていました。どれだけ砂糖や油が含まれているのか見てもらうと、予想以上の多さに保護者の方もびっくりされていたようです。中には「お父さんもこれ食べるでなあ。」「お父さんもこのジュース好きよね。」など、保護者の方のことを暴露する児童も。誰でも無性に甘い物や油ものを食べたくなる時があるものです。でも量や頻度が多すぎるのは考えもの。保護者の方はお子さんの、良い食べ方のお手本になってあげてくださいね。

小さなボトルにも砂糖がこんなに！

